



薬局長 高橋 至



秋田緑ヶ丘病院は、昭和 39 年 10 月に秋田精神神経病院として病床数 107 床で開設しました。その後、平成 3 年 6 月に秋田緑ヶ丘病院と名称を変更し現在は、老人認知性疾患治療病棟 2 を 1 病棟 50 床、精神療養病棟 1 を 5 病棟 300 床、精神科急性期治療病棟 1 を 1 病棟 38 床になっています。また、精神科デイケア（大規模 50 人）、精神科作業療法の施設基準を満たしています。

診療科は、精神科、神経科、心療内科、内科、歯科、歯科口腔外科の 8 科で、さらに特殊外来として、うつ・ストレス外来、思春期外来、物忘れ外来、睡眠障害外来、てんかん外来、女性専門外来があります。

当病院薬局は、昨年 3 月に管理棟が増改築され、それにともない薬局も新しく生まれ変わりました。

外来処方枚数は 42 枚/日、入院処方箋枚数は 50 枚/日、注射処方箋枚数 19 枚/日となっており、薬剤師 4 名、助手 2 名の計 6 名で日常業務をこなしています。



現在、当病院では病院機能評価の認定を取得するため情報収集し、安全の確保と質向上に向けた検討をしています。認定を取得することで、患者さんへより質の高い医療サービスを実現しようと取り組んでいます。

当病院の理念である、『友情を図り「安全・安心・信頼の医療」の実現と地域社会から信頼され「生きる喜び」と「希望」を大切にする医療を行います。』を念頭に常に患者さんに顔のみえる薬剤師であり、安心して治療を受けられよう心掛けていきたいと思ひます。